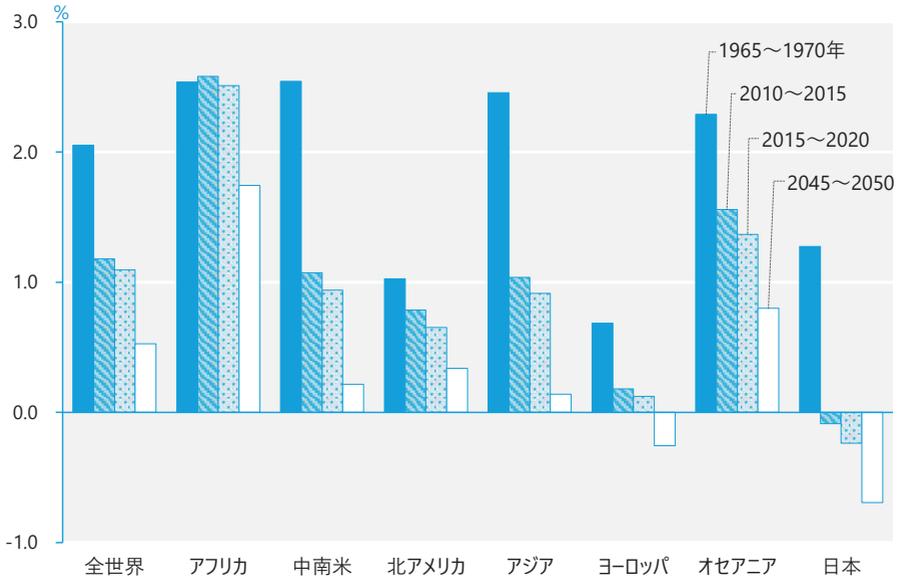


2-2 人口増加率



[関連表](#) p.66 「第2-2表 人口増加率」

世界の人口増加率は、1965～1970年に年率2.05%のピークに達して以降、年々減少を続けており、2015～2020年にはピーク時の約2分の1の1.09%に、さらに2045～2050年には0.53%にまで落ち込むと予測されている。『世界人口予測』は、人口増加率に影響する要因として、出生率と死亡率、人の移動を挙げ、このうち出生率の継続的な低下が、増加率低下の主な原因であるとしている。このほか一部の国々では、人の移動による人口減少が生じていると指摘している。

人口増加率の低下は世界全体で見られる状況だが、相対的に高い増加率を維持しているアフリカに比して、他の全ての地域では低下傾向がより顕著である。特にヨーロッパでは、2020～2025年には増加率がマイナスに転じた後、2045～2050年には-0.26%に低下すると予測されている。

日本の人口増加率は、これに先じて既に2010～2015年には-0.09%とマイナスとなっており、2015～2020年には-0.24%、2045～2050年にはさらに-0.69%に低下する見込みである。